



読者のページ



平成天皇も
学童疎開された

天白区八事山年輪会

水谷 勝彦

先の大戦さなかの昭和19年、サイパンが激戦の末、玉砕した。米軍はそこに大航空基地を建設し、B29長距離爆撃機を用い、日本本土の大空襲を計画した。そこで日本政府は昭和19年

8月、次代の戦力に当てるべき大都市の国民学校3年生以上の学童を、親元から離れて安全な農山村に集団疎開させることを決めた。私も名古屋の国民学校5年生で、昭和19年8月の夏休み、松尾芭蕉の出生地で、忍者でも知られる三重県の伊賀上野に集団疎開をした。

皇室ではかけがえのない次期天皇に即位される、当時学習院初等科5年生の明仁皇太子（平

成天皇）が、沼津の御用邸に親族や学友を伴わず単身で疎開をされた。その後、沼津には軍需工場が在り空襲の危険が増し、より安全な日光のホテルに再疎開された。

疎開生活は食糧難のため質素で量も少なく、食べ盛りの学童にとっては、いつも腹を空かせつらい生活であった。ところが12月末に皇后陛下から集団疎開児童40万人に、皇太子の誕生祝いでビスケットを下賜され大喜びした。つらかったが今では懐かしい思い出である。

手芸と私

第一東部長寿会
藤田みち子

義母の介護と商売。いつかはできなくなるだろう。その時何をして毎日過ごすかと考え、お習字、いろいろな楽器の演奏、手話サークルへ通ったが、どれもすごい練習量と復習が必要で、今の状態では無理と思ひ、

少しの時間で挑戦出来ることが手編みだった。

軽い気持ちで始めたが、結局7年間教室に通い、手編み・機械編みのお免状をすべて取得した。今それが役に立っている。

自宅での編物教室、小学校のトワイライトで子供さん相手の教室などで思いがけない接点があり、少し覚えた手話を生かして編物の説明もできるよ



うになった。自分のためにと始めた編物が私を助けてくれる。物の多さに困り、70歳を過ぎて教室に通った。スーツ、コートまで自分で仕立てることができ、ほとんど捨てないで活用した。結果、私の洋服が沢山でき、流行の先端を

「今日は何を着ようかな？」手作りでいっぱいのタンスを眺め、楽しい日々を送っている。

りですが、一歩進むと楽しいものです。ふた月に一度クラブの会合があり、素晴らしい会のお友達とお会いすることも楽しみの一つ。まわりには向上心に燃えているお元気なお手本が沢山おられ学んでいます。

人生100年

アーバンラフレ志賀寿会
山之内登志江

人生100歳まで生きられる時代になりました。現在頑張ってお過ごしの方は、昭和初期の物不足、貧しい時代を生き抜いてこられた方々と思ひます。昔は人生50年と言っていました。働いても働いてもなかなか暮らしては豊かにならず、大変

な生活に耐えてきましたが、現在の暮らしは便利で夢のような暮らしです。ほんとうに豊かで便利、すべてのものに感謝です。健康であれば一人暮らしでも不自由はありません。現在83歳の私も一人暮らしで働いています。100歳を目標に、あれもこれも習いたい、そんな意欲に燃えて2020年オリンピックまでに少しの英語とスマートフォンができるように習い始めましたが、年齢とともに記憶力も衰えて覚えの悪さに歯痒いばかり

現在の夢のような生活、そして日々の健康と歩ける身体に感謝して100歳も夢ではないと思ひ希望を持って新しい元号の始まりに、気持ちを新たに頑張っていく所存です。

テーマ投稿

5月号のテーマ

「私にとっての平成」

私にとっての平成

西区浮野クラブ
足田 正英

平成もあとわずか、社会人になった昭和の時代は、多くの矛盾や不満を抱えながらも、結婚して子供も出来、希望と夢もありました。

平成に入り、年齢も50代、変な常識が思想を支配し苦痛を感じ、子供の成長やいろいろな不安も重なり、充実した時代とはいいがたい流れが多くなりまして。

退職をして、趣味も含めた生活時間の過ごし方が多くを占めるようになる、いかに人との関係が重要かということが日に日に感じるようになりました。

ややもすると、何時も自分が正当であるかのような錯覚を抱きがちですが、どんなに周りの人たちが周りの物事が自分の支えになっているのか、最近やっと少しずつわかるようになりました。そして「自分を大切にすることは自分の周りの人たちや物事を大切にすることだ」ということを理解し、もっと周りの人たちが物事に気持ちを向けられるよう、努力したいと思ひます。

同窓生の絆が美しい

西区平田永寿会
斎藤 文子

伊吹山の麓に家の明かりがつくと、子供たちの足音がします。火の用心の音が遠く山里まで響いていく、早春の日。

私たち同窓生は、終戦当時小学1年生。15人の友は、みんな貧しく物資がないので、分け合つての昭和でした。それが家庭を持ち、みんな孫の世代まで生きてくれました。そして平成になり、幸せづくりのため同窓の集いを実現したのです。貯金をして平成の30年間のうちに、外国旅行も実現しました。シンガポール・ハワイと飛び立



っていきました。仲よし子良しの集いは現在、みんな年金暮らしで80歳になっています。人生、100年時代と申しますよう、美しい絆は、大きく夢を心に描き、原動力は前向きな姿勢です。そして笑顔は満開に咲いています。心を開いて、お話のできる仲間が元気が一番です。一つの命です。素晴らしい平成の歩みでありました。

次号テーマ

秋の行事の思い出

「読者のページ」ではテーマも設けています。次号のテーマは「秋の行事の思い出」です。

秋には収穫を感謝する秋祭りが各地で行われます。市内でも「名古屋まつり」をはじめ、さまざまなイベントが開催されますが、あなたが今まで参加した祭りや行事の思い出をお聞かせください。